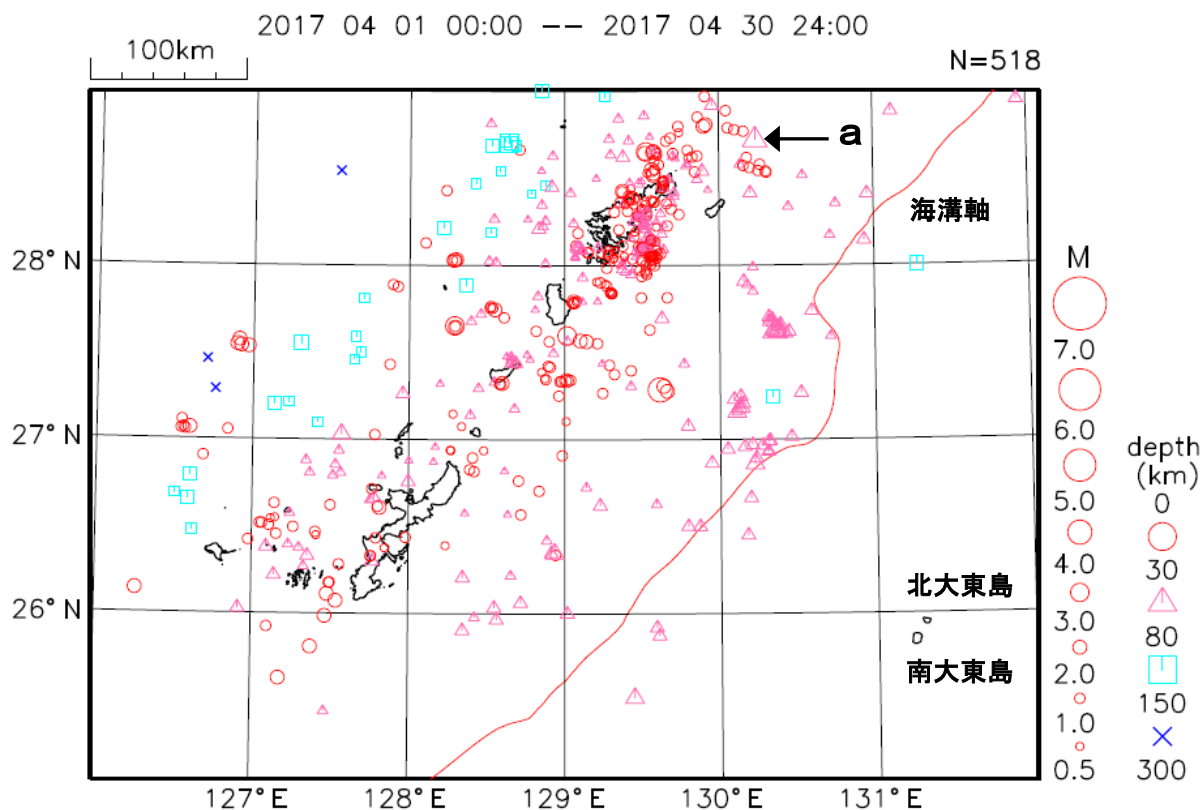


# 地震活動図

2017年（平成29年）4月

南大東島地方気象台

## 震央分布図



震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ

N：地震回数（マグニチュード0.5以上の回数です）

### [ 概況 ]

今期間に観測した地震は518回（3月は180回）、震度1以上を観測した地震はありませんでした。なお、M4.0以上の地震は4回（3月2回）でした。

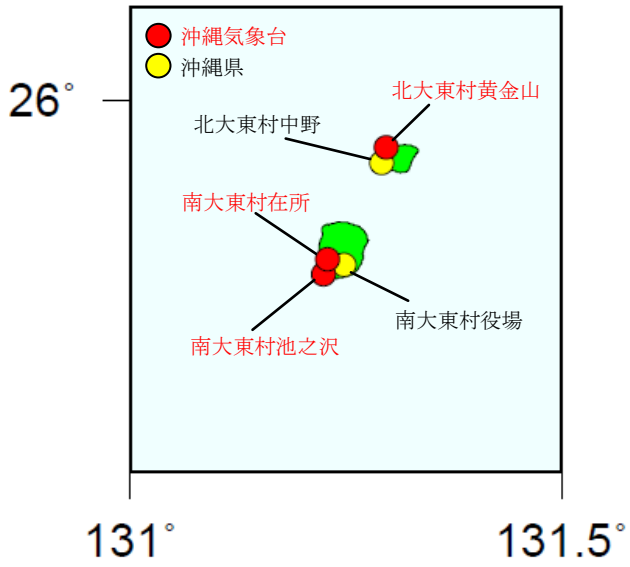
今期間最大規模の地震は、12日22時55分に奄美大島北東沖で発生したM4.8の地震（鹿児島県内で最大震度2、図中a）でした。

#### ※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

### 大東島地方の震度観測点



本件に関するお問い合わせ先  
(南大東島地方気象台)

電話 09802-2-2006

<http://www.jma-net.go.jp/daitou/>

## 津波から身を守るために！

～沖縄でも津波災害が発生しています～

私たちが暮らしている沖縄地方は、周囲を海に囲まれており、津波の被害を何度か経験しています。

### \*\*\* 沖縄で起こった津波の被害 \*\*\*

●1771年（明和8年）4月24日に発生した八重山地震津波（明和の大津波）では、地震そのものによる被害は小さかったのですが、宮古・八重山諸島の沿岸へ大津波が襲来しました。犠牲者は宮古・八重山諸島で合わせて約1万2千人に上りました。

●1960年（昭和35年）5月23日の南米チリ中部沿岸の地震（マグニチュード9.5、観測史上最大規模の地震）により発生した大津波は、約1日後の24日未明に日本に到達しました。沖縄県内の各地にも津波が押し寄せ、沖縄本島で死者3人、負傷者2人の被害がありました（国内では死者・行方不明者142人）。

※被害は日本被害地震総覧【599-2012】による

津波はいつ発生するか分かりません。避難のポイントを押さえておきましょう！

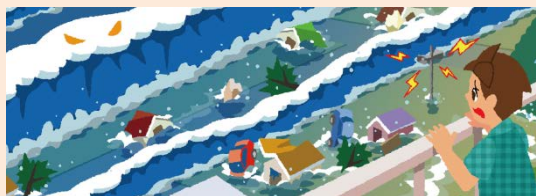
### \*\*\* 津波の特徴と避難のポイント \*\*\*



津波警報を見聞きしたり、強い揺れや弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じた場合は、ただちに高台や津波避難ビルなどへ避難しましょう。



津波は沿岸の地形等の影響により局所的に高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。



津波は長い時間にわたってくり返し襲ってきます。津波警報が解除されるまで避難を続けましょう。



地震や津波に関する情報は  
沖縄気象台ホームページまで

沖縄気象台

検索

